

まちがど まアールバム



駅前サンロードが大盛況!

栄町



9月23日(日)、毎月第3日曜日に開催される因幡のお袋市に合わせて、「コスプレちびっ子アニソンカラオケ大会」と「塩鯖まつり」が同時開催され、多くの人でにぎわいました。カラオケ大会では、アンパンマンやバカボンのパパなどのキャラクターのコスプレをし、大勢の観客の前で熱唱。人前で歌うのは初めてという子どもも多かったのですが、歌い終えるときな「楽しかった」と笑顔を見せていました。

ステージすぐそばでは、鯖を活かした4種類の丼メニューや、塩鯖などが販売され、来場者は数種類の丼を家族らと食べ比べながら、旬の味に舌鼓を打っていました。



里山の怪奇? 狐の嫁入り

用瀬町屋住

10月8日(月)、夕暮れの里山、棚田の中にふわっと浮かぶ灯りの行列。目を凝らしてよく見ると、なんと「狐の嫁入り」。おごそかに進む提灯行列! …と、これは、用瀬町屋住の古民家で行われたブライダルライブイベントの一場面です。引き続き、狐メイクのモデルのみなさんとヘアスタイリストによるヘアショーや、レラ・カントによるブライダルコンサートで盛り上がりました。参加者は、狐たちの華やかな変身にまるで夢をみているよう。たくさんの方に祝福された狐の新郎新婦も幸せいっぱいだったのでした。



大きな栗がたくさん!

河原町天神原

9月19日(水)、河原町天神原の栗園に西郷保育園と河原あゆっこ園の園児たちが訪れ、栗拾いを体験しました。この体験は、この栗園を所有している倉信洋二さんが、実りを迎えるこの時期に、毎年園児たちを招待して行われています。園児たちは、倉信さんから栗拾いの方について説明を聞くと、さっそく栗拾いに挑戦。大人の握りこぶしよりも大きながくりを、一生懸命長靴で踏んで割りました。「大きな栗が出てきた!」「自分で割って拾えたよ」と嬉しそうな顔で、袋いっぱいになるまで栗を拾っていました。



祭り同士の「コラボレーション」

元魚町四丁目

10月14日(日)、鳥取城下の久松公園で鳥取32万石お城まつりが開催され、甲冑や袴などを身にまとった人たちがまちを練り歩きました。途中、一行はこの日同時に行われていた鹿野街道祭りの会場へ移動。時代行列の中で、白虎隊を装った人たちが踊りを披露しました。祭りに訪れていた人たちは、厳かな演舞の前に、「頑張れ」、「似合ってるよ」などと声援を送っていました。

また、標谿神社では恒例の権現祭が開催され、祭り同士が重なり合うことで、鳥取城跡周辺はとてにぎやかな1日となりました。



みんなで稲刈りに挑戦!

河原町牛戸

9月21日(金)、西郷小学校の全校児童と地域のみなさんが参加して稲刈り体験が行われました。学校のすぐ近くにある田んぼを借りて春に植えた稲は黄金色に実り、児童たちは、先生から稲の刈り方や鎌の使い方について教わると、ぬかるむ足元に気を付けながら一斉に稲刈りに取り掛かりました。「鎌をサツと引くのがコツ」という地域の人からのアドバイスに、最初は少しずつ刈り取っていた子も徐々にスピードアップ。「上手く刈り取れると気持ちがいい」と、自分の手で刈り取る感覚を掴んでいました。



伝統漁法「うぐい突き」を体験

気高町陸蓬

10月14日(日)、気高町陸蓬地区にある大堤池で、うぐい突きが行われました。これは、水を抜いた池で、「うぐい」と呼ばれる竹で編んだ底抜けのかごを水中に突き立て、中に入った魚を獲る伝統漁法です。この日は、学生人材バンクを通じて呼びかけた大学生5人を含む13人が、400年以上前から伝わるこの漁法を体験。大物の鯉が獲れるたびに、拍手や歓声が起こっていました。会場では、獲った鯉と地元野菜がたっぷり入った「うぐい鍋」やおにぎりなどが無料で振る舞われ、にぎやかな一日となりました。



まちを緑でいっぱい!

東品治町

10月6日(土)、来年秋に行われる全国都市緑化とっとりフェアの機運を盛り上げようと、フェアの1年前まつりが鳥取駅前で行われました。駅前の風紋広場では草花の植え付け体験が行われ、むつみ保育園の園児と保護者が一緒に参加。移植ごてで一先懸命土を掘り、オミナエシヤカレックス・エバールゴールドなどの多年草を植えていきました。自分で植える感覚が楽しく、中には余った苗を積極的に植えていく子どもも。「植えられてよかった」、「楽しかった」など、花と緑でいっぱいになる日を楽しみにしている様子でした。